

第2回 ONDA（大阪・構造物非破壊診断交流会） 議事録

日時：平成19年2月28日（水） 15:00～17:45

場所：（財）日本建築総合試験所 大阪事務所 3階大会議室

出席者：鎌田会長，葛目幹事，森幹事，永山幹事，藤原，吉田，内田（記録）

以上7名（順不同，敬称略）

配布資料：2-0 第2回 大阪・構造物非破壊診断交流会 議事次第

2-1 第1回 大阪・構造物非破壊診断交流会 議事録（案）

2-2 大阪・構造物非破壊診断交流会 活動方針（案）：内田

2-3 大阪・構造物非破壊診断交流会 名簿：内田

2-4 弾性波による非破壊検査に関する研究委員会 活動紹介：鎌田会長

議 事：

1. 会長挨拶

鎌田会長より，開催の挨拶があった。

2. 第2回議事次第

鎌田会長より，本日の交流会の進め方について説明があった。

3. 第1回議事録（案）の確認

内田より説明があり，内容確認が行われ承諾された。

4. 話題提供

- (1) 鎌田会長より土木学会 コンクリート委員会 「弾性波法によるコンクリートの非破壊検査研究小委員会（326委員会，2004年終了）」の活動報告があった。各種弾性波法の名称とその定義および専門用語の定義についての説明があった。また，コンクリートの物性評価・欠陥評価における弾性波伝播速度や周波数特性の考え方についての解説もあった。
- (2) 「開発した打音解析システムの検証実験について」，森幹事より説明があった。開発されたシステムは，打撃音を収集すると同時に打撃位置までも瞬時に把握することができるものであった。打撃位置を瞬時に把握するために，位置標定するための振動センサを計測対象物に4つ配置し，各センサで受信された波の時間差を利用しているとの解説がされた。この解析システムにおけるコンクリート内部の空隙検知に関する適用性について検証するため，模擬空隙が埋設されている供試体で実験を実施している。このシステムによって推定された空隙位置と実際に存在する空隙位置とは，良い対応関係を示しているとの結果報告があった。

5. ONDA 活動方針について

内田より、活動方針（案）の説明があった。この活動方針には、研究活動と啓蒙活動とが含まれた形で明文化されていた。また、本交流会の約束事についても、同時に説明があった。

6. その他

次回の交流会までに、内田が本交流会のホームページの素案を作成することになった。

7. 今後の予定

第3回交流会：平成19年5月16日（水）14：00～17：00

場所：非破壊検査株式会社

以上

（記録：内田）